

令和元年度

学校評価アンケート
結果報告

杉並区立天沼小学校運営協議会

会長 高橋

武郎

杉並区立天沼小学校

校長 松野

泰一

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

また、このたびの学校評価アンケートには、保護者の皆様、児童、教職員、地域の皆様等、天沼小学校に関わる多くの方にご回答いただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

ご協力いただいたアンケート結果の集計が終了いたしましたので、皆様にご報告申し上げます。

今年度の保護者アンケートの回収率は 74.2%となり、自由意見記述欄も含め、天沼小学校の教育活動に対する皆様の大きな関心や期待を感じる結果となりました。

以下、設問ごとの評価、自由記述欄のご意見に基づき、全体の傾向から見た考察をまとめました。これらは、今後の天沼小学校の教育に生かしていくよう協議を行った内容です。あわせてご確認ください。

学校評価アンケート実施を通してめざすもの



- (1) 児童・保護者・地域の方と連携を深めながら、一人ひとりの子どものよりよい育ちを促すために、天沼小学校の教育への理解を深めていただく。
- (2) 天沼小学校の教育活動をより推進するための評価を責任をもって行い、学校教育活動への参画意識を高めていただく。
- (3) 「安全・安心な教育環境の実現」という視点から、施設・組織としての学校運営のあり方について連携と認識を深めていただく。

全体の傾向からみた考察



❖ 全体的に高い評価を示すアンケートの結果

この学校評価は、天沼小学校が目指す教育目標の実現を目指して学校が実践してきた多彩な教育活動について、様々な立場の皆様から評価をいただき、その結果に学校運営協議会の立場から考察を加えることで、次年度の教育計画や教育活動のさらなる改善に役立てていくという取組です。

こうした観点から 21 項目の評価回答の結果を見てみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「肯定回答率」の平均は 91.4%で、高い評価をいただくことができました。

昨年 11 月に実施された杉並区教育委員会の「教育調査アンケート」においても「肯定回答率」は平均 85.6%となっていましたので、天沼小学校の教育活動がご家庭や地域の方々のご理解・ご支援のもと、着実に成果に向けた歩みを進めていると言えるでしょう。

また、今年度も年度初めに全家庭に向けて「『天沼小学校がめざす教育』のご紹介」をお配りし、年度当初の「天沼教育フォーラム」の開催、PTA 運営委員会での学校教育内容のご報告、さらにホームページ等を通じて天沼小学校の教育内容へのご理解・ご協力を深めていただいたことも、高い評価をいただいた大きな要因であったと考えています。



ご報告の記載方法は、一番上に設問を、次にアンケート結果のグラフ、そして学校運営協議会・学校評価委員会にて協議検討した考察を示してあります。

考察については、学校に意見として述べ、来年度の教育内容への反映を目指して協議した内容です。

また、家庭・地域の皆様とともに進めていきたい教育内容についても記載しています。学校・家庭・地域がともに連携して、天沼小学校の子どもたちの成長を支援していきましょう。



学校運営協議会の今年度の活動を振り返って

天沼小学校学校運営協議会 会長 高橋武郎

私どもの学校運営協議会は、地域の方々や学識経験者などを含めた10名の委員によって構成されており、月1回の定例会での協議などを通して、天沼小学校の子供たちのために、また、松野泰一校長先生を中心とした学校経営の充実に向けた支援を図るために、様々な活動をしてまいりました。特に、学校・保護者・地域が一体となって天沼小学校の教育活動の一層の充実を図るため、「学校評価部会」「研修交流部会」「広報部会」の3つの部会を設け、それぞれの活動に取り組んでまいりました。

例えば、「学校評価部会」では、年度初めに天沼小学校の今年度の教育方針や教育内容などを分かりやすく紹介したリーフレットを作成・配布いたしました。そして、その内容項目を踏まえ、12月から1月にかけて学校評価アンケートを実施し、保護者・地域の皆様方などからのご意見を広く収集するとともに、その結果をここにまとめ、ご報告したところです。

また、「研修交流部会」では、教職員の方々と保護者・地域の方々とが気軽に交流しながら学びを深める「サマーワークショップ」の企画・運営にも取り組んでまいりました。

さらに、「広報部会」では、毎月発行される学校だよりの中の「学校運営協議会コーナー」において、私どもの学校運営協議会に関わる様々な情報の提供にも努めてまいりました。

これらの活動を通して、天沼小学校の子供たちが、多くの地域の方々と直接関わりながら学びを深めたり、現実の社会や地域の中で体験を通して学びの質を高めたりするなど、社会に出た時にこそ生きて働く力を育むことに寄与できたのではないかと受け止めております。これも、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力のおかげであると、心より感謝申し上げます。

そして、これからも天沼小学校を中心に据え、学校・保護者・地域が一体となって、天沼小学校の子供たちの健やかな成長に向けて、全員で取り組んでまいりましょう。

1年間、ありがとうございました。

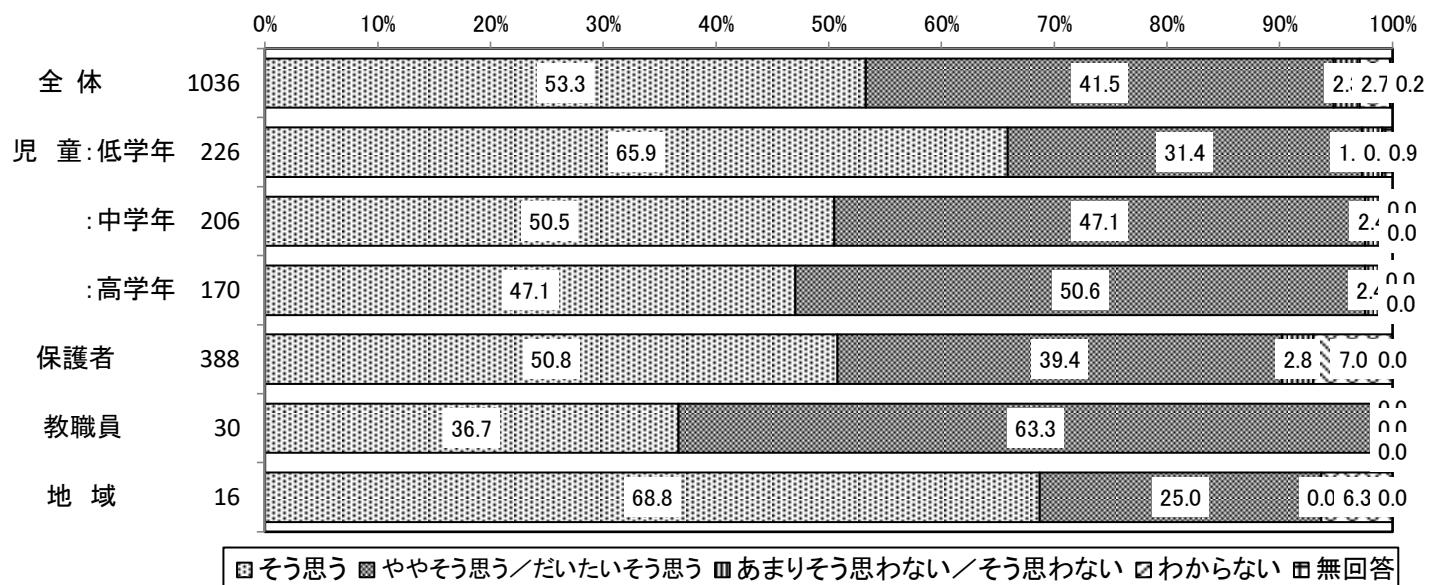
1 基礎学力の定着（「学んでわかるおもしろさ」をめざして）

① 「あまぬま学びの約束」の実践

設問

1. あまぬま学びのやくそくがわかり、守っています。(1・2年生)
1. 「天沼のきまり」「あまぬま学びの約束」など、学校生活のルールを守って生活しています。(3・4年生)
1. 「天沼のきまり」「あまぬま学びの約束」などのルールを守り学校生活を送っています。(5・6年生)
① 「あまぬま学びの約束」に基づいて、ルールを守ったスムーズな授業運営が行われている。

(保護者・教員・地域)



■ そう思う ■ ややそう思う／だいたいそう思う ■ あまりそう思わない／そう思わない □ わからない □ 無回答

【肯定回答率：94.8%】（昨年度：93.3%）

学校生活の基本ルールである「あまぬま学びの約束」については、低学年のうちから継続的に取り組んでいきたいテーマとして、今後も取組を進めていきます。生活における規範についてはぜひ家庭でも取り組んでいただき、学校と家庭が連携して基本的な生活規範を育てていけるよう、ご協力をお願いいたします。



ちょっとおさらい！
「あまぬま学びの約束」って？ その1

「あまぬま学びの約束」は、天沼小における生活の基本ルールです。

この約束を守りながら充実した教育を進めていきます。ご家庭でもお声掛けをよろしくお願ひします。

授業前の約束

* 休み時間のうちにトイレに行くなど、用事をすませておきましょう

* 次の学習に必要なものを机の上に出しておきましょう

授業中の約束

* 授業の始まりのあいさつ

いすにすわったままでよい姿勢をしましょう

「よい姿勢をしてください」

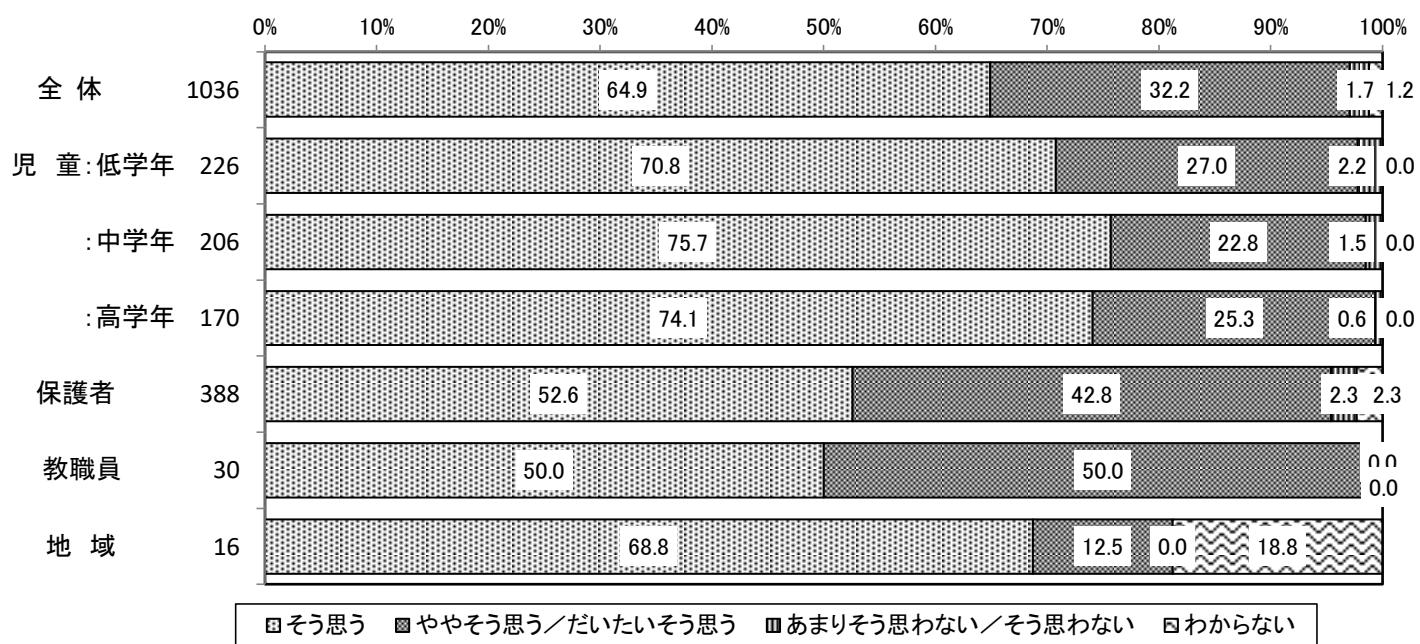
「これから○○の勉強をはじめます」

「はい」

②すべての教育活動での言語活動の充実

設問

- 2.授業の中で自分の考えを発表したり友達の話を聞いたりすることができます。(1・2年生)
- 2.授業では、ルールにそって話し合ったり考えを書いたりする活動があります。(3・4年生)
- 2.授業中に話し合い活動や振り返りの活動の時間があります。(5・6年生)
- ②授業では話し合い活動を通じて自分の考えを表現したり、感想文で具体的な言葉での表現を考えたり、学びの基本となる「聞く」「話す」「読む」「書く」力を養うための取組が行われている。(保護者・教員・地域)

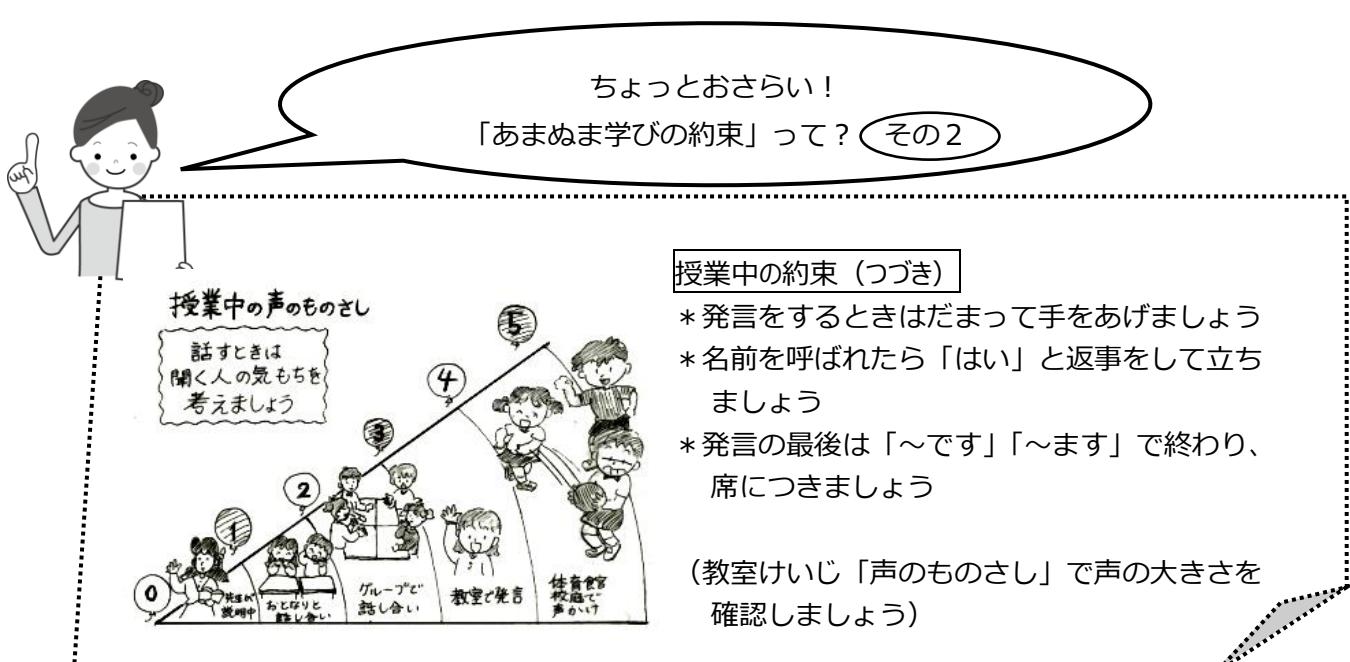


■ そう思う ■ ややそう思う／だいたいそう思う ■ あまりそう思わない／そう思わない ■ わからない

【肯定回答率：97.1%】（昨年度：95.6%）

考察

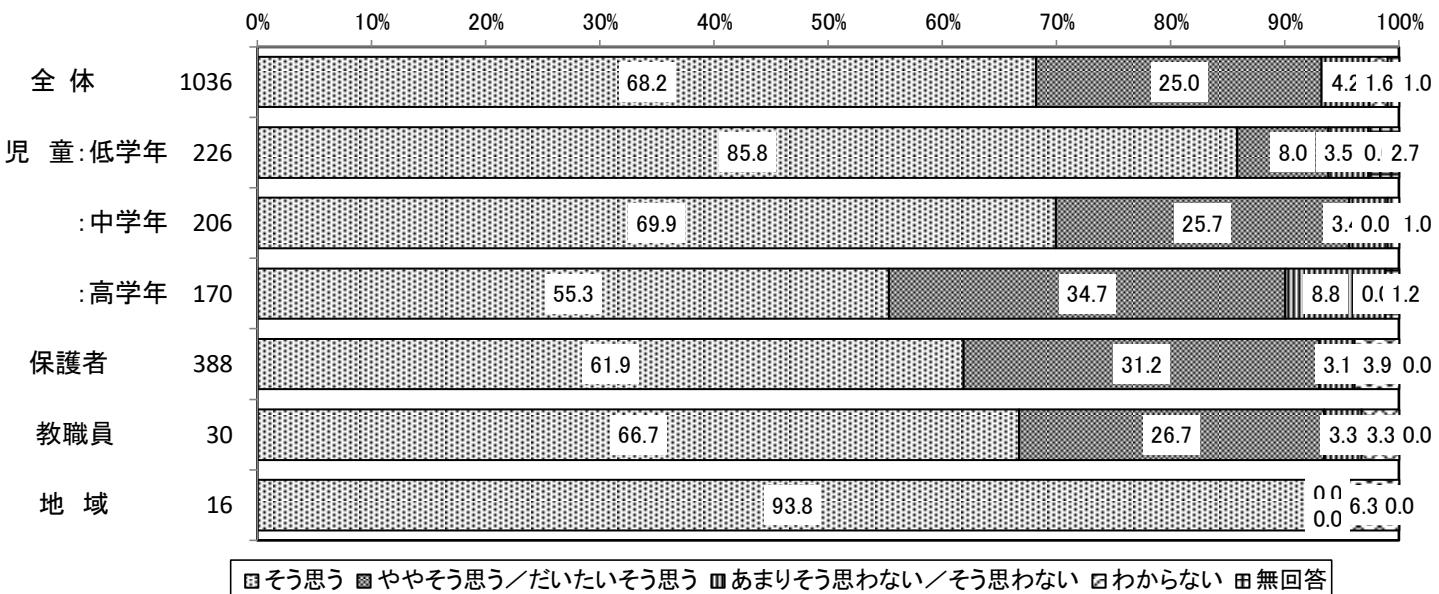
学校におけるすべての教育活動において、自分で考え、自分の言葉で伝え、他者の意見をしっかりと聞く力を養う機会が学習の中で積極的に設けられていることが感じ取れる結果になっています。これからの中では、こうしたコミュニケーション力がとても重要になっていきます。今後も引き続き「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく育てる指導に取り組んでいきます。



③算数少人数指導の実施

設問

- 3.算数少人数の授業で、先生はいつもていねいに教えてくれます。(1・2年生)
3.算数少人数の授業では、先生が発表や質問にしっかり答えてわかるまで教えてくれます。(3・4年生)
3.算数少人数授業では質問や発表・指示がわかりやすく、自分に合った速さで学習ができます。(5・6年生)
③多様な指導方法により、意欲的に取り組める学習環境が整えられている。(保護者・教員・地域)



考察

【肯定回答率：93.2%】（昨年度：93.8%）

算数少人数指導に関しては、日々の取組が成果につながっていると感じられる結果となりました。児童数が増加傾向にありますが、今後も児童一人ひとりの学習状況に合わせた指導を継続していきたいと考えています。



ちょっとおさらい！
「算数少人数指導」って？ どういう意味があるの？

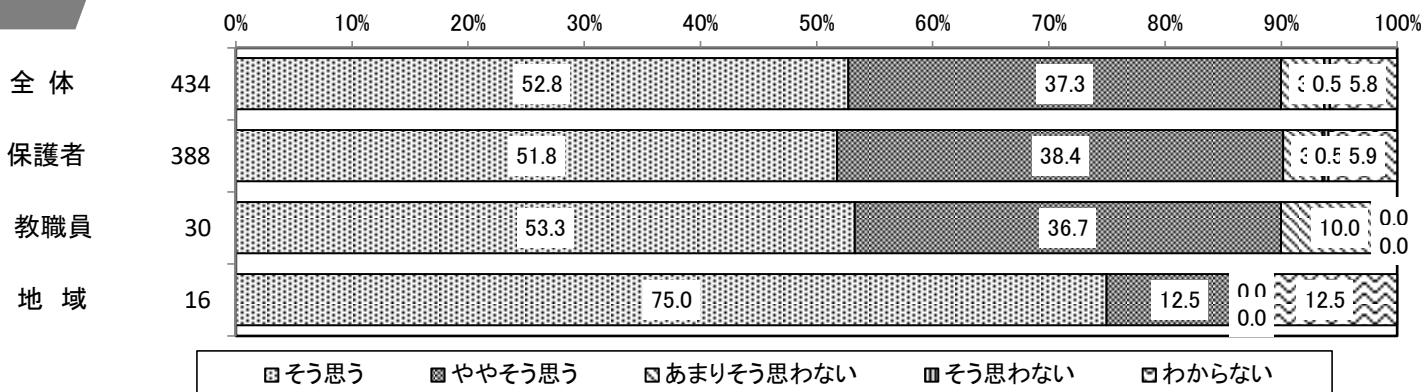
天沼小の算数の学習では、1～6年生まで、1年生は2学級3展開×2、その他の学年は3学級4展開、4学級5展開で授業を行い、学習の目的や内容に合わせ、個々に合ったきめ細やかな指導方法を取り入れています。それにより、児童一人ひとりが意欲的に取り組める学習環境がつくられています。

また、習熟度別指導の方法として、1年生は単元によって分け方を変え、2年生以上は「どんどん・すくすく・じっくり」などのコースに分けて、基礎・基本部分の学習を確実に行っていき、また、理解の早い児童はさらに発展問題などに取り組むなどしています。

④教員の専門性を生かした指導の実施

設問

④専科制や教科担当制など、教員の専門性を生かした指導が行われている。(保護者・教員・地域)



考察

【肯定回答率：90.1%】 (昨年度：89.4%)

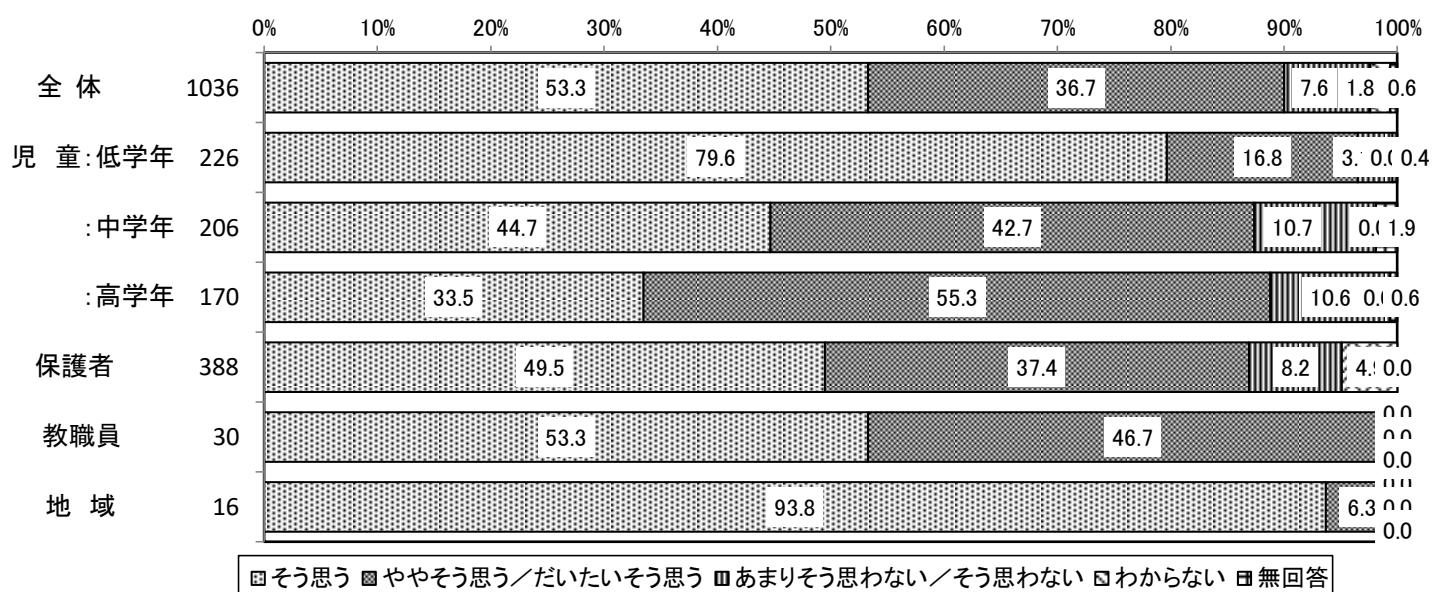
自由意見には、教員の熱心な指導に対して感謝の言葉をお寄せいただきました。また、専門性をより一層高めようとしている教員からの前向きな意見もありました。

今後もさらなる指導力向上に努めていきたいと考えています。

⑤基礎学力定着のための取組 【チャレンジタイムについて】

設問

- 4.月・木・金曜日のチャレンジタイムでの学習にがんばって取り組んでいます。(1・2年生)
- 4.チャレンジタイムで学習することで、より力がついています。(3・4年生)
- 4.チャレンジタイムで学習することで、より力がついています。(5・6年生)
- ⑤フォローアップタイム、ハッピイスタディ、夏季講座、チャレンジタイム等を通して、基礎・基本的な学習の定着が図られている。(保護者・教員・地域)



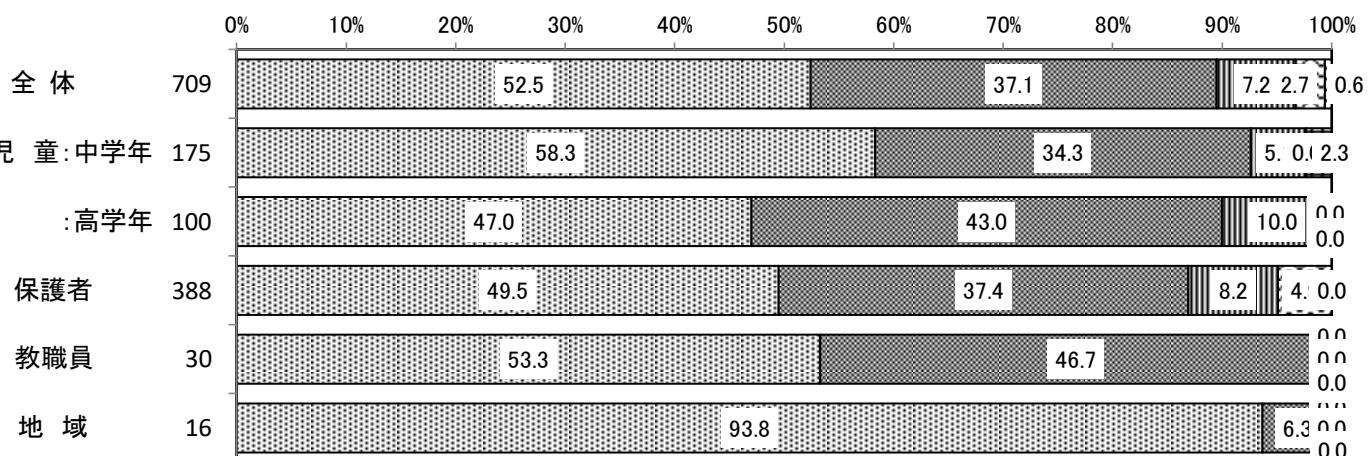
考察

【肯定回答率：90.0%】 (昨年度：91.5%)

チャレンジタイム等を用いた学習時間については、継続した取組が特に低学年を中心として成果につながっていると感じられる結果です。今後も効果的な時間として活用していきたいと考えています。

⑤基礎学力定着のための取組 【フォローアップタイムについて】※参加している児童のみのカウントになっています。

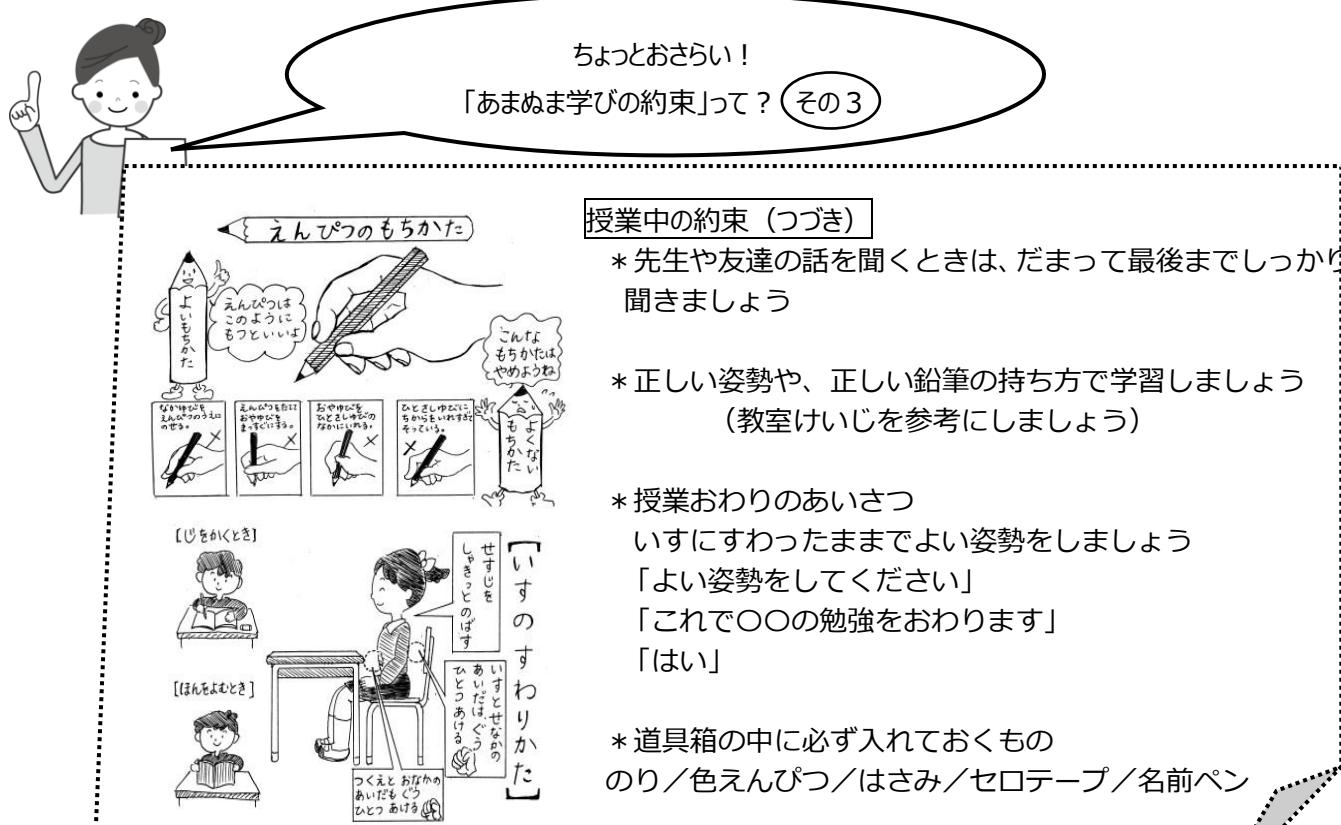
- 設問**
- 5.私はフォローアップタイム・天沼夏季講座・ハッピイスタディに取り組むことによって力がついています。
(3・4年生)
- 5.私はフォローアップタイム・天沼夏季講座・ハッピイスタディに取り組むことにより力がついています。
(5・6年生)
- ⑤フォローアップタイム、ハッピイスタディ、夏季講座、チャレンジタイム等を通して、基礎・基本的な学習の定着が図られている。(保護者・教員・地域)



■そう思う ■ややそう思う／だいたいそう思う ■あまりそう思わない／そう思わない ■わからない ■無回答

【肯定回答率：89.6%】 (昨年度：92.6%)

「フォローアップタイム」等の学習についても、多様な学習機会の一つとして、今後も有効に活用していきたいと考えます。このような活動は、継続して取り組むことが成果につながっていきます。そのためにも学校支援本部等の協力者と教員との連携をしっかりと図り、より効果的な学びの場にしていきたいと考えています。

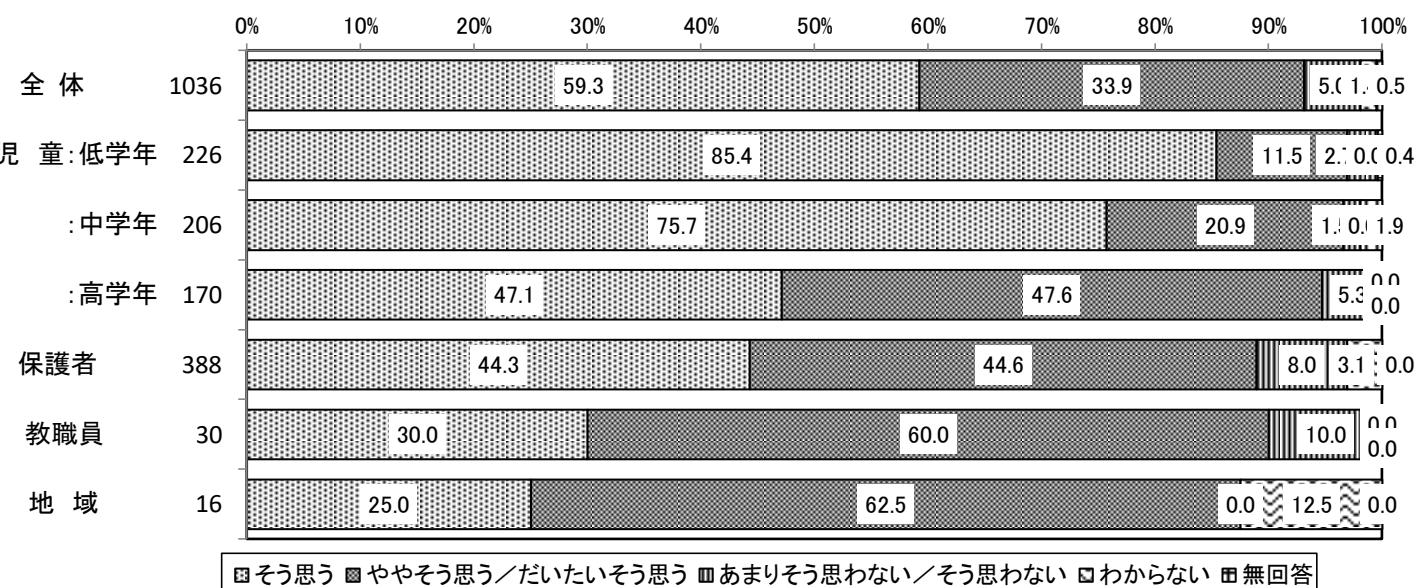


豊かな人間性の育成（「人とかかわるおもしろさ」を体感する）

⑥規範意識の醸成

設問

- 5.きまりを守ることの大切さを教わっています。(1・2年生)
6.人と協力し、助け合うなどの大切なことを学んでいます。(3・4年生)
6.高学年としての自覚を持ち、きまりやルールを意識して行動しています。(5・6年生)
⑥社会のきまり・ルールを意識する指導が学齢に応じて行われており、自己の生き方およびその基盤となる判断力が育まれている。(保護者・教員・地域)



考察

【肯定回答率：93.2%】（昨年度：93.0%）

規範意識を育むということについては、学校運営協議会としても、とても大切な問題として考えています。今後も重点的に取り組むテーマのひとつとして検討を行っていきます。



ちょっとおさらい！
「いろんな人とかかわろう！」について

昨年度に引き続き、今年度も学校運営協議会では、「いろんな人とかかわろう！」として、

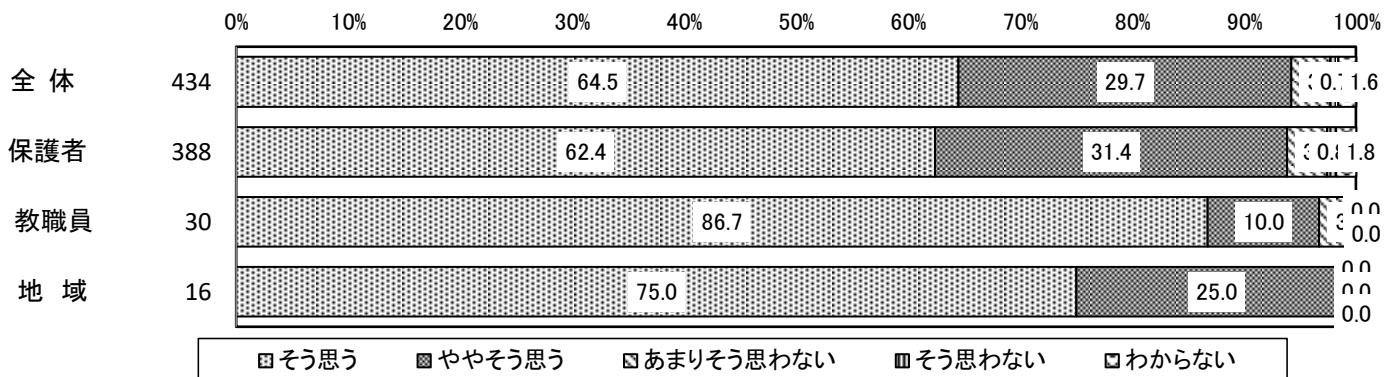
- ・あなたがかかわることで学校や地域はもっとよくなります。
- ・いろいろな人とのかかわりを通して、子どもたちの、そしてご自身の「生きる喜び」を実感してみましょう！

という呼びかけを行いました。今後もご家庭や地域、学校などの様々な場で、「人とかかわる」喜びを感じられるよう、取り組んでいきましょう。

⑦地域社会の一員としての自覚を育む取組

設問

⑦地域とのかかわりとつながりを意識した様々な活動を通して、町会や商店会をはじめとする地域の方々との交流が行われており、天沼地域の一員としての自覚や地域への愛着心を育むための取組が行われている。
(保護者・教員・地域)



考察

【肯定回答率：94.2%】（昨年度：97.0%）

地域の方々との交流については、地域社会を構成する一員であるという自覚を育むためにも、こうした取組を継続的に行っていきたいと考えています。学校支援本部がコーディネートする地域と連携した活動が、天沼小の大きな特色として認知されていることを感じる結果です。



知ってましたか？

天沼小とともに子どもたちを育んでくださる地域の皆さん

ここでは、地域の方々がどのように、子どもたちの学習や体験活動等に協働してくださっているかを紹介します。

東京青年会議所杉並区委員会	4年地域安全マップ作り
天沼地区町会	朝遊び・1, 2年生伝承遊び・6年わたしたちの天沼
教会通り新栄会	2年町たんけん・3年お店番体験・5年AKP※・6年わたしたちの天沼
寿通り商店街	5年AKP
荻窪北口商店街	5年AKP・6年わたしたちの天沼
白山通り商店街	5年AKP
西友荻窪店	3年スーパーマーケット見学
JA東京杉並グリーンセンター	3年杉並農業の話
地域の施設(18か所)	2年町たんけん
地域協力者	茶道・書道・華道・お箏・折り紙・百人一首・点字学習・お話会・読み聞かせ・5年AKP品評会
あまぬまおやじの会	お泊りキャンプ・あまぬまギネス等

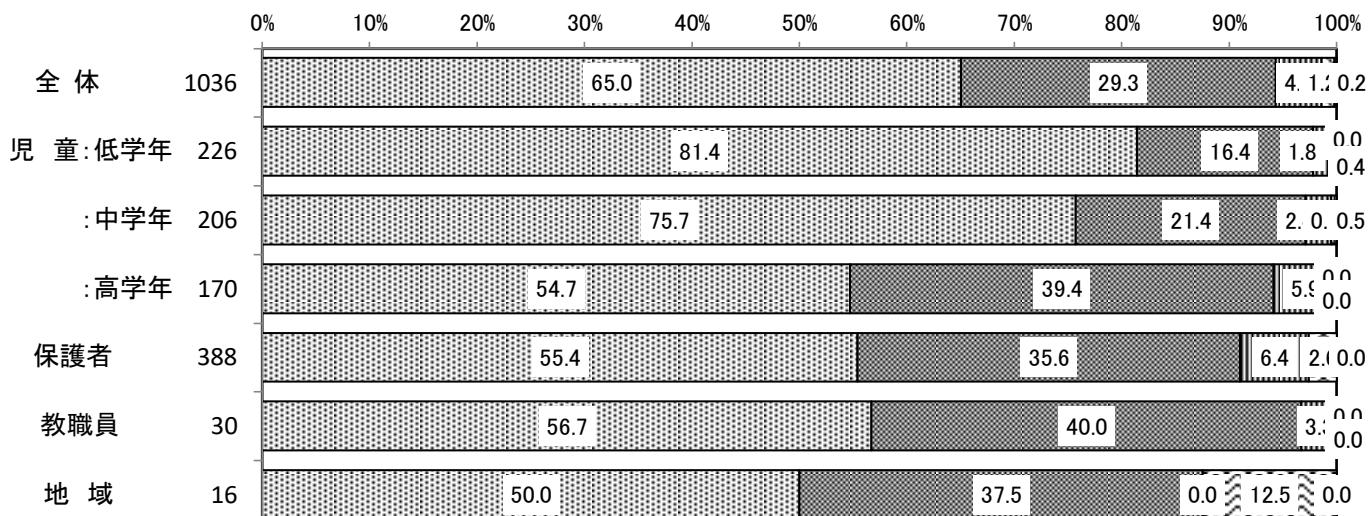
主な連携・協働のご紹介です。そのほかにも、多くの方々にお世話になっています。

※AKPは5年生のキャリア教育プログラム「天沼会社経営プロジェクト」

⑧すべての人とかかわって生きる喜びの醸成（インクルーシブな心の育成）

設問

- 6.たてわりはんの人たちと楽しく遊んでいます。(1・2年生)
 7.こだま学級との交流やたてわり活動を通し、ともに生活をする仲間として大切に思っています。(3・4年生)
 7.こだま学級との交流やたてわり班活動を通し、互いに（天沼小学校で生活し学習する）仲間として尊重しています。(5・6年生)
 ⑧こだま学級との交流、全校たてわり班活動、2学年合同の学習などを通して、世代や文化の違い、障害の有無などにかかわらず、お互いを理解し合い、認め合える「共生社会」をめざし、「すべての人とかかわって生きる喜び」を児童が感じられるよう、様々な機会の提供と必要な支援が行われている。
 (保護者・教員・地域)



□ そう思う □ ややそう思う／だいたいそう思う □ あまりそう思わない／そう思わない □ わからない □ 無回答

【肯定回答率：94.3%】（昨年度：94.1%）

天沼小には通常学級と特別支援学級との交流や、たてわり班における異なる学年同士の交流があります。こうした機会を通じ、日々の学校生活はもちろん、総合的な学習の時間等においても、「人とかかわるおもしろさ」にしっかりと向き合っていきたいと考えています。各ご家庭でもぜひ、多様性を認め、様々な立場、個性を発揮する人々とともに心地よく生きていくというテーマについて会話を深めていただきたいと思います。



ちょっとおさらい！

「天沼小がめざす教育」について

天沼小では今年度の教育方針として「～おもしろいこと、しよう。～」を掲げています。このテーマは、下記の3つの「おもしろさ」で構成されています。

- ①「わかるおもしろさ」…知識や経験を身につけることによって、いろいろなことを理解できる基礎を培う（基本基礎の充実、ICT教育の継続推進）
- ②「人とかかわるおもしろさ」…多様な人達と関わることで社会性を身に付け、自分以外のすべての人を尊敬する心を養う（地域との連携による教育、インクルーシブな心の教育）
- ③「生きるおもしろさ」…学校の中だけにとどまらず、子どもたちの人生そのものを支えていく「主体的・対話的で深い学び」を推進する（社会に開かれた教育課程の実現）

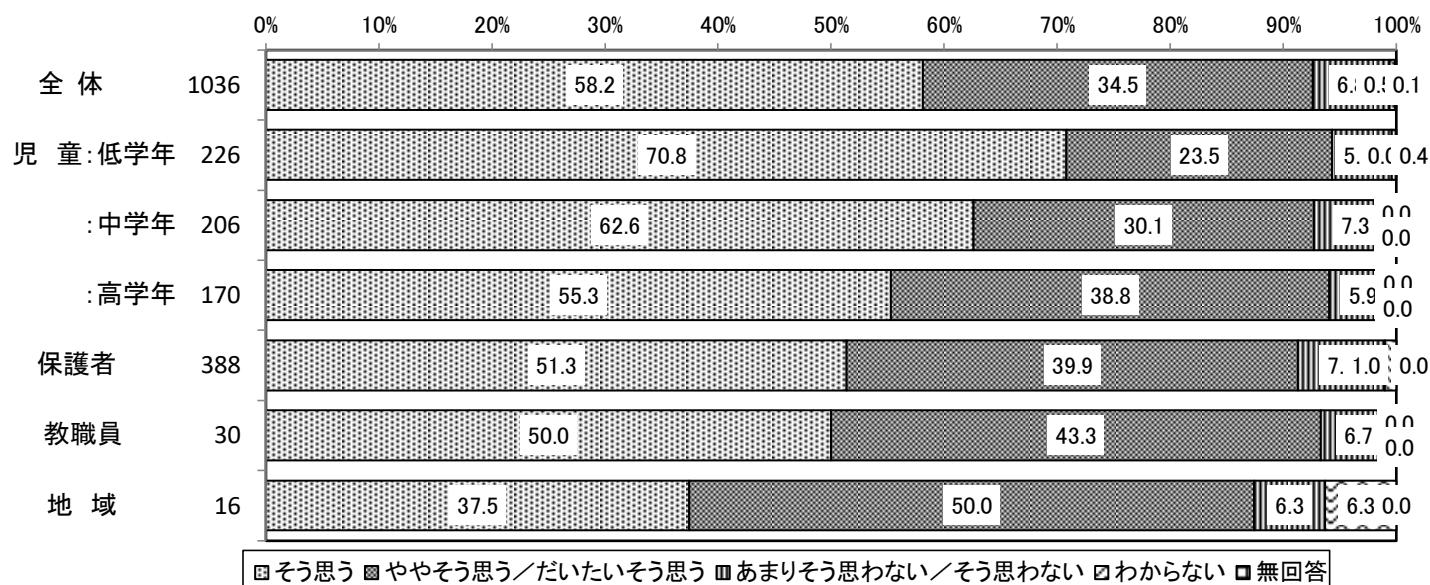
皆様もこうした「おもしろさ」を通して、子どもたちの学びを見つめ、支えていただきたいと思います。

心と体の健康づくり（たくさんの「おもしろいこと」に出会うために）

⑨体力の向上と健康の増進

設問

- 7.朝の時間やなわとび、かけあしなどで体がきたえられています。(1・2年生)
8.休み時間や長縄週間、かけ足を通して体力づくりにはげんでいます。(3・4年生)
8.かけあしや長縄週間、持久走週間などの取り組みにより体力の向上に努めています。(5・6年生)
⑨「心と体の健康づくり」の充実に向けて、ゲストティーチャーの招聘などを通して充実した体育学習を行うとともに、「朝遊び」「かけあしタイム」「30分休み」「長縄週間」「持久走週間」等の取組を計画的に取り入れることで体力の向上が図られている。(保護者・教員・地域)



【肯定回答率：92.7%】（昨年度：93.4%）

様々な取組のうち、「朝遊び」は、安全が確保された場所で子どもたちが遊びの中から様々なことを学ぶとてもよい機会となっており、さらに始業前に活動することで、スッキリした気持ちで学習に向き合えるという二次的効果も期待できます。なお、この「朝遊び」は、地域の方々のご協力によって継続できている取組であることも合わせてご認識ください。

考察



知つてましたか？

健康、体力面から見た天沼小の子どもたち

毎学期の身体検査の結果から、養護教諭の上農先生が心配していたのは、視力の低下でした。日常的にゲームやパソコン、携帯電話などの目を使うことが多い時代です。特に高学年は机に向かう時間も増えていることだと思います。

ぜひご家庭でも子どもたちと一緒に目を休めるように努めましょう。遠くを見たり、自然の緑を見たりすることが、目を休めるのにはとても良いようです。

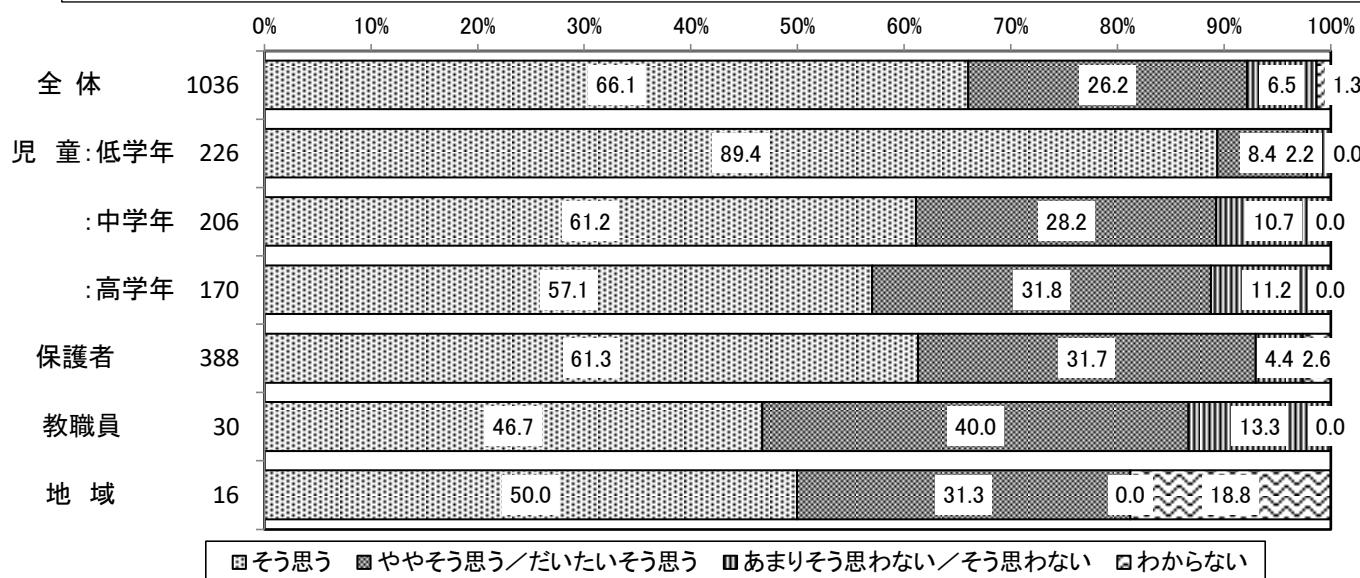
なお、普段から保健室では、できるだけ子ども自身で簡単な手当てができるようにご指導いただいている。また、軽いケガや休日のケガで来室する児童が多いというお話をあり、子どもたちの心と体の健康に向けた取組において、ご家庭のご協力はとても重要である感じています。

子どもたちが健康に過ごすために何ができるか、今後とも一緒に考えていきましょう。

⑩食育の推進

設問

- 8.お弁当きゅう食やリザーブきゅう食など、楽しくきゅう食の時間を作っています。(1・2年生)
9.お弁当給食やリザーブ給食などで楽しく給食の時間を過ごし好き嫌いなく食べられるようになっています。(3・4年生)
9.多彩な給食(お弁当給食やリザーブ給食など)により好き嫌いのないように食べています。(5・6年生)
⑩日頃の給食の充実に加え、栄養士の専門性を生かし、食に関する様々な情報を提供するとともに、たてわり班でのお弁当給食やリザーブ給食の実施など、食を通じた体と心の健康づくりが進められている。(保護者・教員・地域)



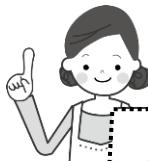
考察

【肯定回答率: 92.3%】(昨年度: 93.9%)

栄養士や調理員との連携により、多様なメニュー、安全で安心な給食が提供されています。毎月の「給食だより」にも「食」をテーマにした話題が掲載されていますので、ぜひご確認ください。

知ってましたか?

天沼小の「給食運営協議会」



天沼小の給食はエム・ティー・フードという会社に委託されており、校内で毎日作られています。実際にどのような形で日々の給食が提供されているのかを確認し、課題や改善点などについて考える場として、年に1回、杉並区教育委員会の職員、天沼小のPTA役員や他校のPTA役員、CS委員などが参加して、「給食運営協議会」が開催されています。

この協議会では、実際に給食を試食して、栄養士、委託会社の責任者、調理担当の方々それぞれから、給食に関する取組全般や調理に際して気をつけていること、現状の課題などについて説明があり、出席者とのあいだで様々な意見交換が行われます。

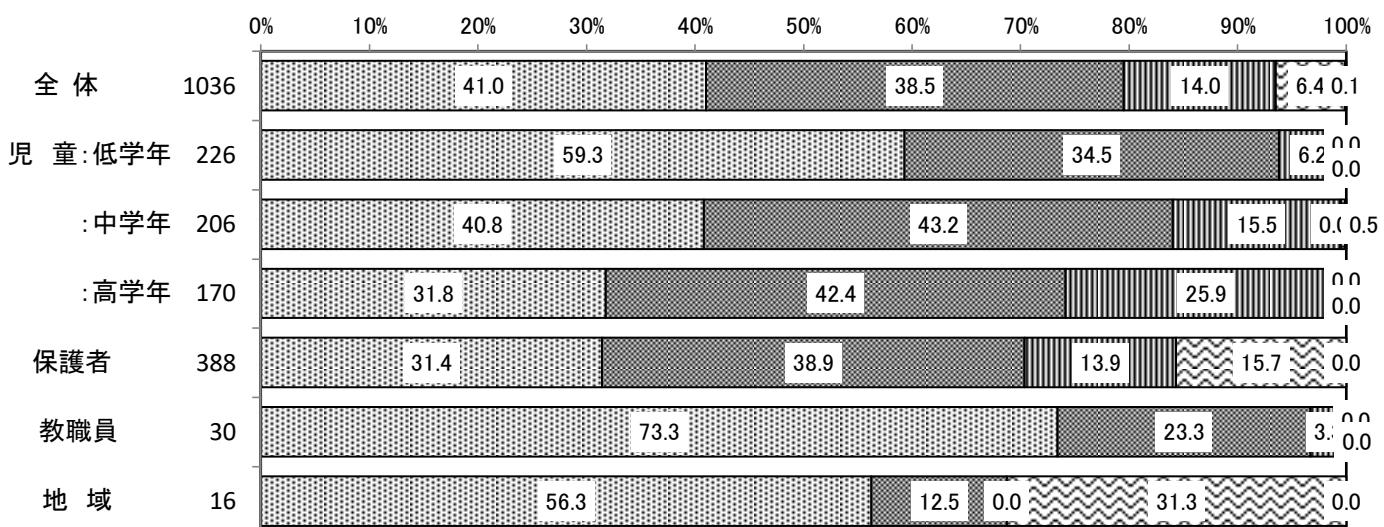
天沼小の給食において、昨年度から今年度にかけて大きく変わった点といえば、児童数増加に伴って、ご飯を炊くお釜が1機増えたことです。ただ、そのスペースの分だけ給食室が広くなったわけではないため、調理中の動線の確保に苦慮なさっているとのことでした。

アレルギー対応なども含め、子どもたちが安心・安全な給食を楽しく食べられるよう、給食についても、たくさんの大人たちが知恵を絞り、努力を重ねているのです。

⑪スクールカウンセラーとの連携を通じた心の教育の推進

設問

- 9.こまつたときに先生にそだんできています。(1・2年生)
 10.学習や生活で悩んだ時には先生やスクールカウンセラーに相談しようと思います。(3・4年生)
 10.学習や生活の中で悩んだ時には先生やスクールカウンセラーに相談しようと思います。(5・6年生)
 ⑪スクールカウンセラーと担任が連携して、人間関係に関わる問題の早期発見と予防に努めている。また誰もが気軽にスクールカウンセラーに相談できるよう、教育相談の環境が整えられている。(保護者・教員・地域)



■ そう思う □ ややそう思う／だいたいそう思う ▨ あまりそう思わない／そう思わない □ わからない □ 無回答

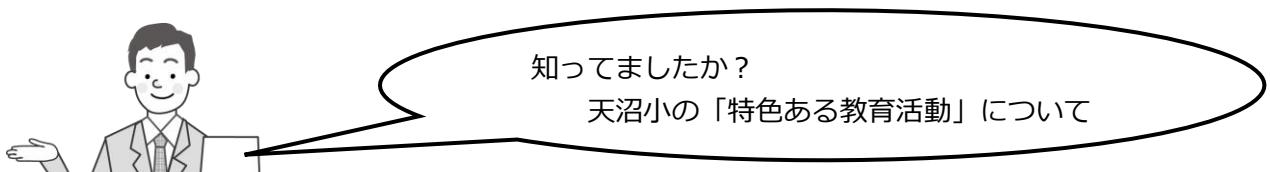
考察

【肯定回答率：79.5%】（昨年度：79.2%）

自由記述を見ると学校側の丁寧な対応に感謝の言葉をいただく一方、スクールカウンセラーに対する認知度がまだまだ低いことを感じるご意見もありました。

スクールカウンセラーの亀井先生は常に子どもの相談に優先的に応じる形をとっており、1人につき2時間の面談時間を確保して、丁寧に相談に応じています。先生曰く、「相談」ではなく「おしゃべり」をする感覚で気軽に話しかけてほしい、とのことでした。

また、天沼小では担任の先生に話をしても悩みを解決している児童が多い印象もあり、引き続き、担任の先生や専科の先生、担任ではなくても天沼小の先生方だれにでも相談していいのだろうことを呼びかけていきたいと考えます。



保護者や地域の皆様に支えられ、天沼小の特色ある教育活動は常に進化を続けています。

活動の三本柱である「読書活動」「キャリア教育」「日本の伝統・文化理解教育」は高い評価を得ており、今後も継続して取り組んでいきたい内容です。

また、ICT教育や東京オリンピック・パラリンピック教育といった、いよいよ始まる「新しい時代」を見据えた取組にも大きく期待したいところです。

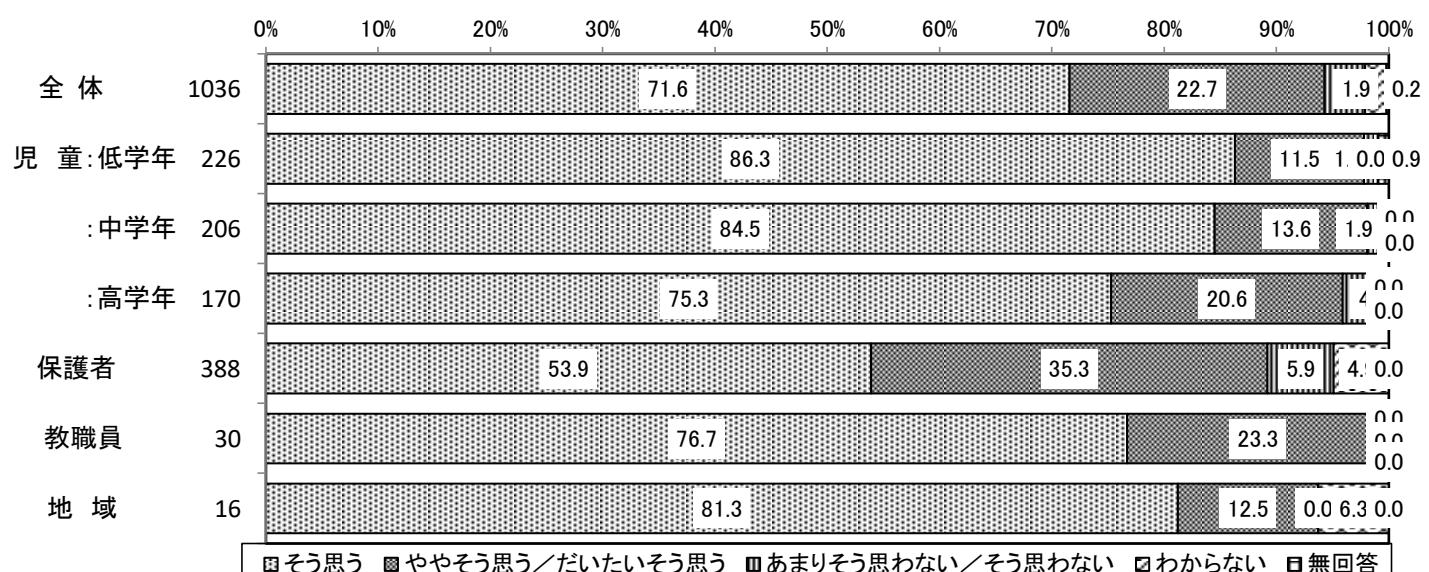
皆様も引き続き、「地域とともにある学校」天沼小の教育活動にお力添えをお願いいたします。

特色ある教育活動（「天沼小ならではのおもしろさ」がここにある）

⑫読書タイム、お話会、読書週間の実施、学習情報センターとしての学校図書館の役割

設問

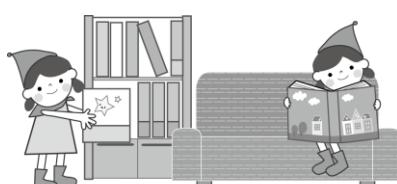
10. 読書タイムでの読み聞かせやお話会、図書の時間を楽しくすごしています。(1・2年生)
11. 読書タイムやお話会、読書週間、図書の授業など楽しく読書の時間に取り組んでいます。(3・4年生)
11. 読書タイムやお話会、読書週間、図書の授業など楽しく読書の時間に取り組んでいます。(5・6年生)
⑫「読書タイム」「お話会」「朝の読み聞かせ」「読書週間」などの取組を通して読書への関心を高めている。また、学校図書館を拠点に教員と学校司書が連携し、授業に必要な参考資料を揃えるなど、「学校図書館＝学習情報センター」としての機能が発揮されている。(保護者・教員・地域)



考察

【肯定回答率：94.3%】（昨年度：93.2%）

読書活動推進は天沼小の重点活動です。皆様からのご要望や期待のお言葉にお応えすべく、教職員、学校司書、学校支援本部の読書活動プロジェクトがしっかりと連携することで、よりよい図書授業を進めていきたいと考えています。



知つてましたか？

「ハッピーブックメニュー」について

「ハッピーブックメニュー」の始まりは5年前、学校司書と栄養士が本の中から出てくる食べ物を給食で再現してみようと、『魔法使いのチョコレートケーキ』（マーガレット・マーハー作）からチョコレートケーキを作り、それが給食メニューとして登場しました。

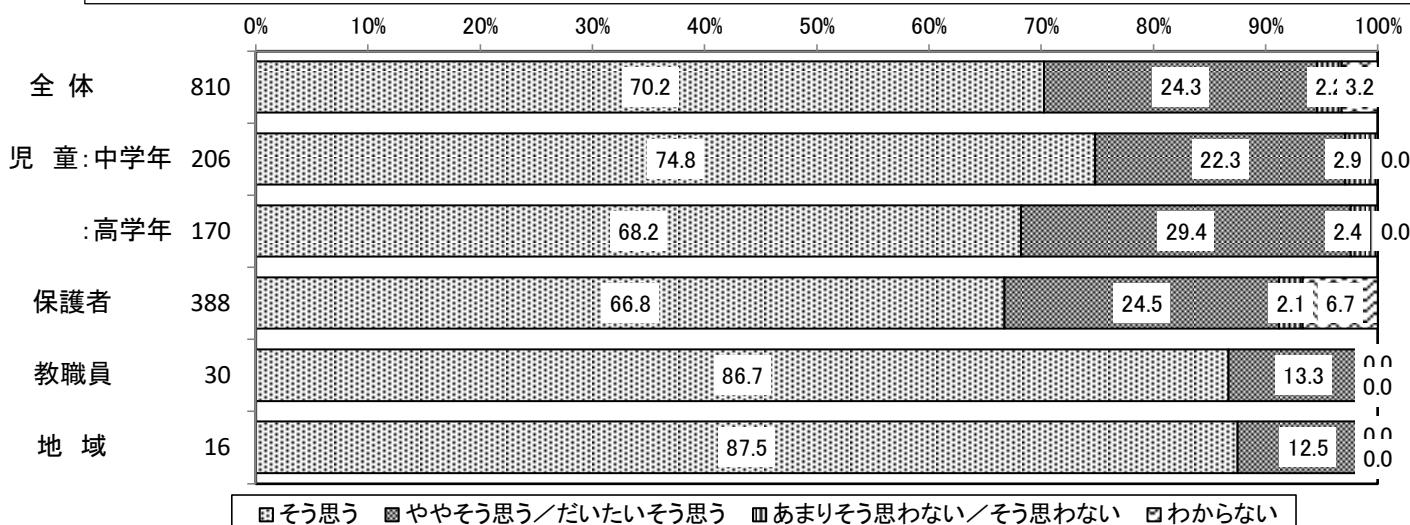
そして今年度、「ハッピーブックメニュー」がパワーアップして戻ってきました。2学期の読書週間の時、給食とのコラボ企画で6つのメニューが登場しました。ぐりとぐらのかすてら（絵本『ぐりとぐら』）、11ぴきのねこのコロッケ（絵本『11ぴきのねことあほうどり』）、ルルとララのスイートポテト、まほうのアヒルのグラタン（『グラタンおばあさんとまほうのアヒル』）、ひみつのカレーライス、おさかなのてんぷら（絵本『おばけのてんぷら』）は、レシピ付きでお手紙が配られました。また、読書週間中に「おいしい本の木」が学校図書館前に登場し、そこに子どもたちが書いたメニューは、来年の給食メニューになるかもしれません。

しかけがいっぱいの本と給食のコラボ企画、来年度が楽しみです。

⑬お店番体験（3年）、地域安全マップづくり・障害のある方々との交流授業（4年）、起業体験プログラムAKP（5年）、わたしたちの天沼・裁判傍聴（6年）、手芸・ペットボトルキャッププロジェクト・フェスタこだま（こだま）の実施

設問

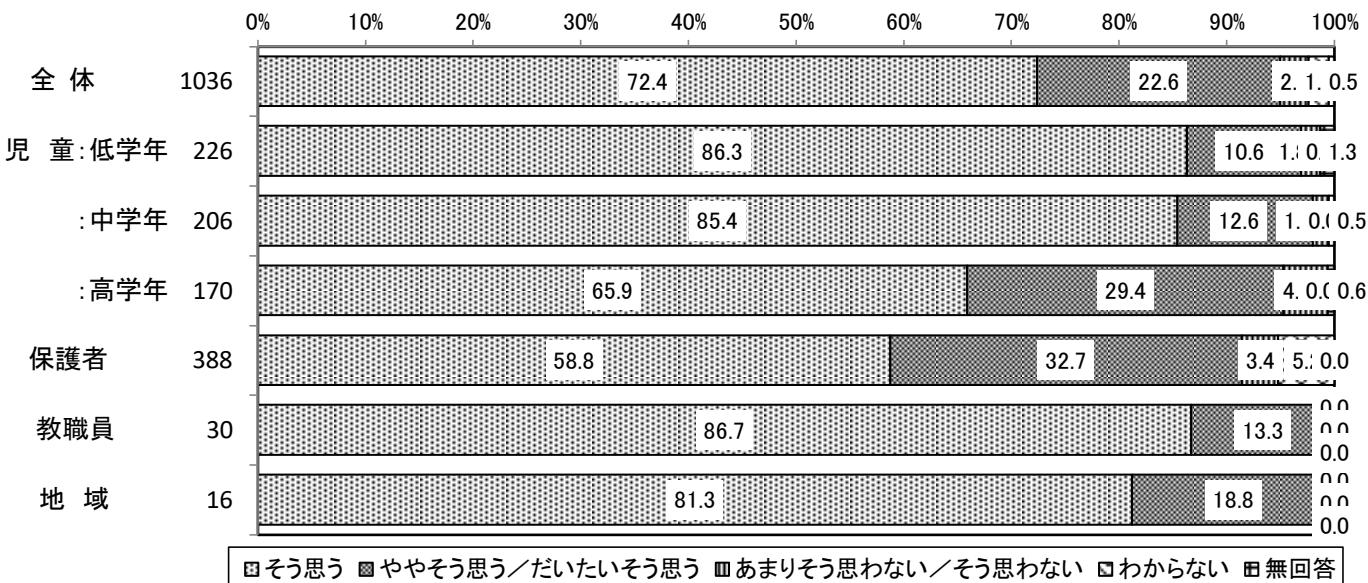
- 12.お店番体験や地域安全マップ作りを通して、自分が住んでいる地域のことや、人々のことがわかるようになりました。（3・4年生）
- 12.「AKP（あまぬま会社経営プロジェクト）」や「わたしたちの天沼」「裁判傍聴」などの学習は、自分の将来の生き方に役立つと思います。（5・6年生）
- ⑬学齢や個人の実態・特性に応じた段階的なプログラムで多彩なキャリア教育を実施しており、児童が「ほんもの」に触れ、社会を知り、将来への夢や希望、自分の得意分野を活かして前向きに生きていく意欲を育んでいる。（保護者・教員・地域）



⑭日本の伝統・文化を理解する「ほんもの」に触れる多様な文化理解教育の実施

設問

- 11.茶道や紙すき、おり紙教室などを楽しく行っています。（1・2年生）
- 13.書道・華道・茶道・箏の体験を通して、日本の伝統・文化にふれることを楽しみにしています。（3・4年生）
- 13.百人一首、茶道、書道体験などを通し、日本の伝統・文化のよさに気づきました。（5・6年生）
- ⑭ゲストティーチャーを招いた「ほんもの」に触れる活動等を通して、日本の伝統・文化への理解、郷土に対する愛着心や多様な文化への理解が深まっている。（保護者・教員・地域）



考察

【肯定回答率：⑬94.5%・⑭95.0%】（昨年度：⑬94.4%・⑭92.1%）

天沼小が取り組んできている「キャリア教育」「日本の伝統・文化理解教育」については、地域とともにある教育活動の根幹として、ご理解をいただけていると考えます。これらの活動は「読書活動」とともに天沼小の特色ある教育活動の「三本柱」として、今後も続けていきたい取組です。

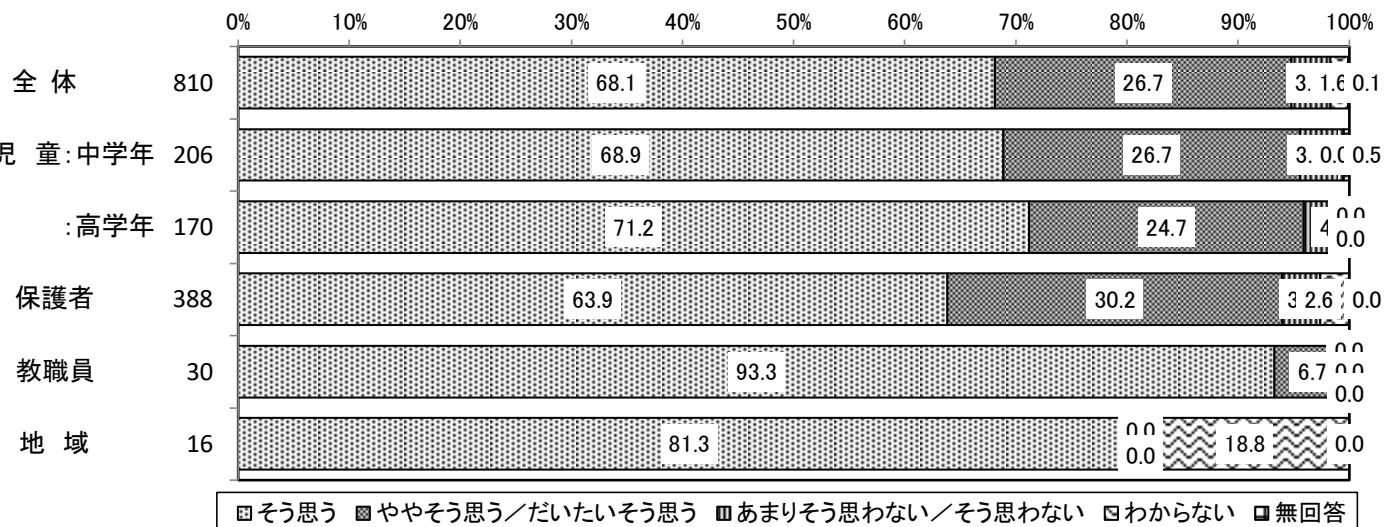
⑯ ICT インフラの利活用

設問

14.授業において、いろいろなことにタブレットを使っています。(3・4年生)

14.授業に加え、学校生活の様々な場面でもタブレットを活用しています。(5・6年生)

⑯ 東京都教育委員会「プログラミング教育推進校」の指定校として、デジタル教科書の活用やプログラミング教育の導入を積極的に行うとともに、電子黒板や通常学級の Windows タブレット、特別支援学級の iPad などを授業の中だけにとどまらず、学校生活の様々な場面において活用している。(保護者・教員・地域)



考察

【肯定回答率: 94.8%】 (昨年度: 95.8%)

皆様もご存知の通り、天沼小では全国に先駆けて最先端の ICT 教育を推し進めてきました。

2020 年度からはいよいよ小学校でプログラミング教育が必修化となります。天沼小の ICT 教育のさらなる進化と新たなチャレンジにぜひご期待ください。



知ってましたか?
「天沼小の ICT 教育」

天沼小は ICT 教育の先進校として、3年生以上に一人1台のタブレットPCが与えられるなど、ICT機器を活用した教育活動を積極的に進めています。

杉並区教育委員会が実施した今年度の「教育調査」においても、全学年を通して非常に高い評価を受けています。子どもたちはタブレットを「文房具」として活用し、調べ学習や意見交換、学習のまとめ、反復学習などに使っています。

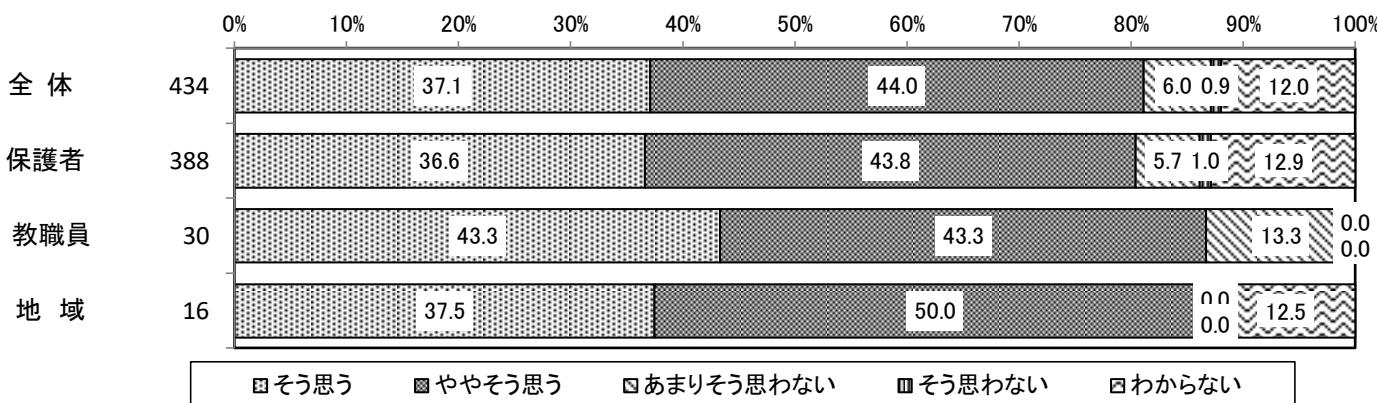
ICT公開授業のアンケート等ご指摘が多かった「プロジェクターが見にくい」という点については、区内で最初に天沼小に電子黒板機能付きプロジェクターが導入されてから年数がたっているための経年劣化でしたが、12月に全教室のプロジェクターを更新し、明るくはっきり表示ができるように改善されました。

また天沼小では、令和2年度から全小学校で始まる「プログラミング教育」を平成29年度から東京都教育委員会の推進校として取り入れ、「情報モラル教育」とともに学校の特色として実践を積み重ねています。

⑯天沼中学校区における小中連携教育活動（AKA）の取組

設問

⑯天沼中学校全学年の生徒と、天沼小・沓掛小児童との交流学習を行うとともに、授業体験、部活動体験等も実施し、中学校生活へのイメージを膨らませている。さらに3校の教員が一堂に会して行う三校合同教員研修を通して、教員同士の日常的な情報、ノウハウの共有や、ICT・情報モラル教育の連携推進等、よりよい教育活動の実現をめざしている。（保護者・教員・地域）



考察

【肯定回答率：81.0%】（昨年度：72.9%）

昨年度と比較して肯定回答率が大幅に向上しました。これは昨年度から始まった「AKAの日」の取組によるものが大きいと感じています。中でも教職員の肯定回答率の変化が顕著で、この取組を通して、教職員の間でも小中連携に取り組む意義が改めて明確になり、教員同士の連携が児童や生徒の成果につながっていくことを期待したいです。なお、今年度の「AKAの日」はアンケート回収後の1月11日に行われ、天沼中学校の生徒が多数来校し、天沼小の子どもたちと交流を行いました。こちらはぜひ来年度以降も継続していきたい取組です。

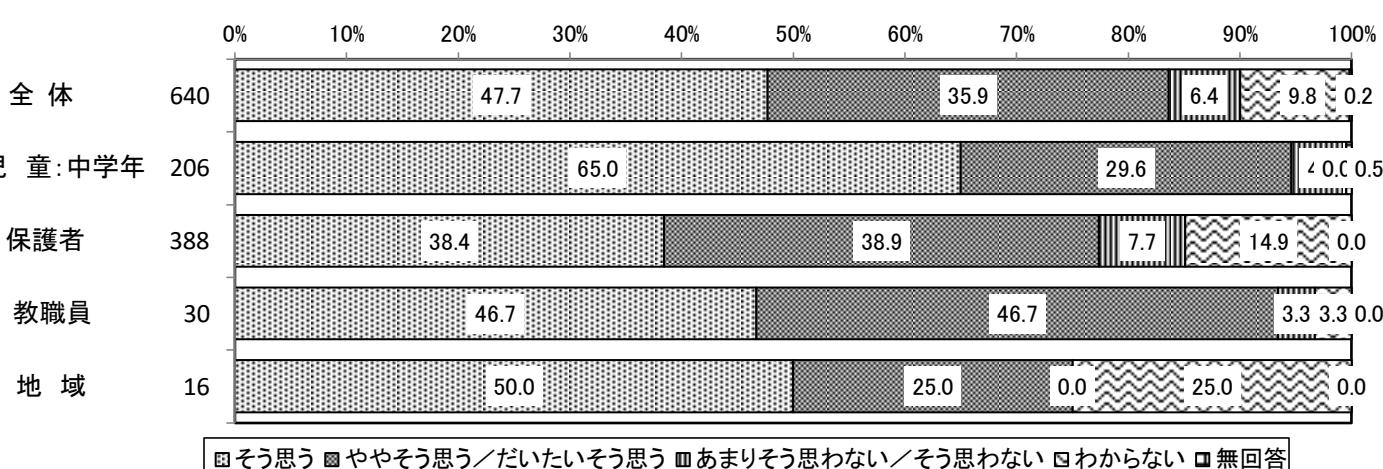
※AKA：天沼中・沓掛小・天沼小3校の取組

⑰近隣の幼稚園・保育園と連携した「わくわく交流プロジェクト」の取組

設問

15.幼稚園児や保育園児との読み聞かせなどの活動を通した交流が、自分の成長にプラスになっています。（3・4年生）

⑰近隣の幼・保育園児との交流活動（3年生の総合的な学習の時間として実施）により、幼児にとっては「小1プロブレム」の解消、児童にとっては、自己有用感や責任感などが育まれている。（保護者・教員・地域）



考察

【肯定回答率：83.6%】（昨年度：83.4%）

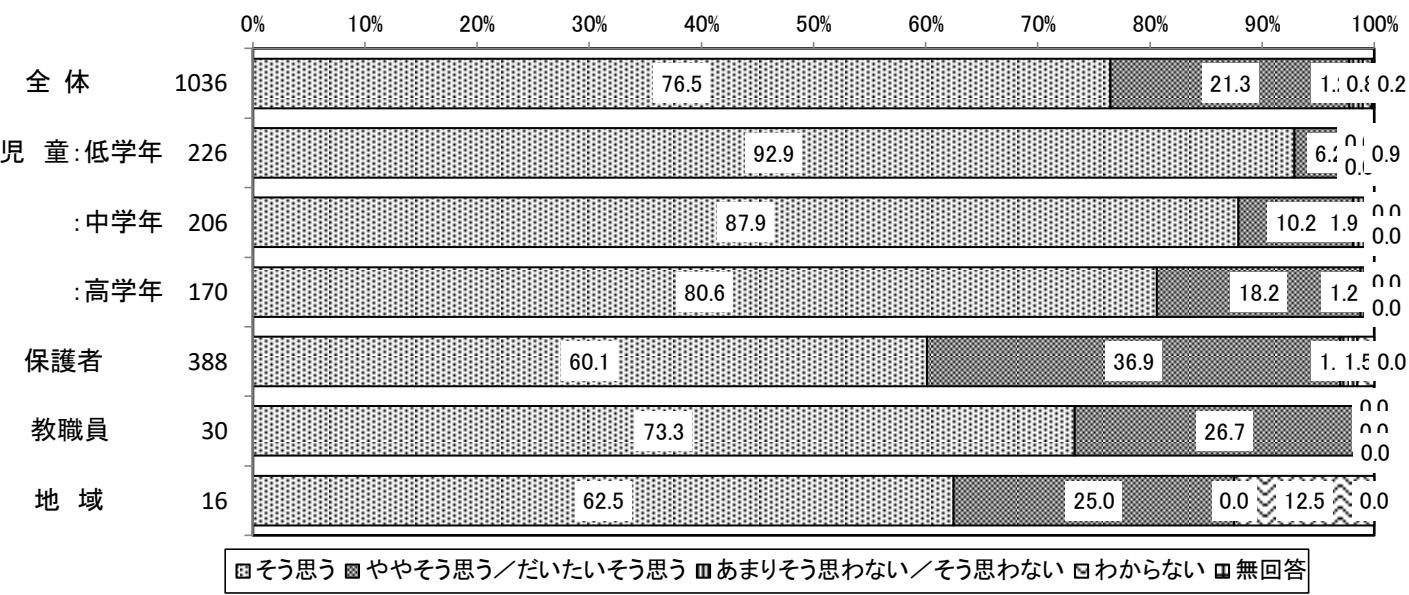
該当学年以外の保護者の皆様には情報が伝わりにくい点もありますが、対象学年の教職員や児童、参加した幼稚園・保育園（今年度は幼稚園1園、保育園6園）からは高い評価を得ている取組です。今後もさらなる工夫をしながら継続していきたいと考えています。

安定した学校運営の実現

⑯学校施設の安全、防犯、防災への取組

設問

- 12.ひなんくんれんでは、自分を守る方法を教わっています。(1・2年生)
16.避難訓練などで、災害の時は自分の身を守る方法を学んでいます(3・4年生)
15.避難訓練などで災害から自分の身を守ることを学んでいます。(5・6年生)
⑯月1回の避難訓練、三校合同引き取り訓練、地域を含めた訓練、セーフティ教室や防災教育などを通して、自分で身を守るための能力を育てるとともに、様々な設備や仕組みを導入することで、安全の確保に向けた取組が行われている。(保護者・教員・地域)



■ そう思う ■ ややそう思う／だいたいそう思う ■ あまりそう思わない／そう思わない ■ わからない ■ 無回答

考察

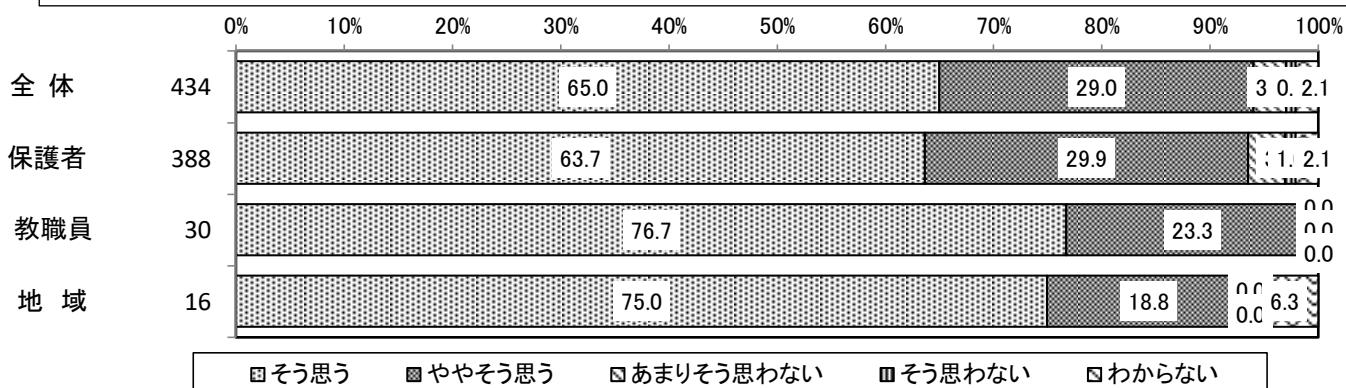
【肯定回答率：97.8%】 (昨年度：97.3%)

災害時への備えについては、西側階段の整備などを通じて、避難経路の確保にも十分対応できています。今後も階段の通行ルール(右側通行、駆け上がらない、駆け下りない等)を徹底していきます。引き取り訓練はいざという時のために必要な危機管理の取組です。保護者の皆様も積極的に、かつ整然とご参加をお願いいたします。

⑯迅速かつ的確な情報の公開・提供

設問

- ⑯学校を取り巻く様々な情報について学校ホームページや「校長室だより」、学校・学年だよりで公表するとともに、緊急メール配信システムの活用などを通して、迅速かつ的確な情報の提供・共有が図られている。(保護者・教員・地域)



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

考察

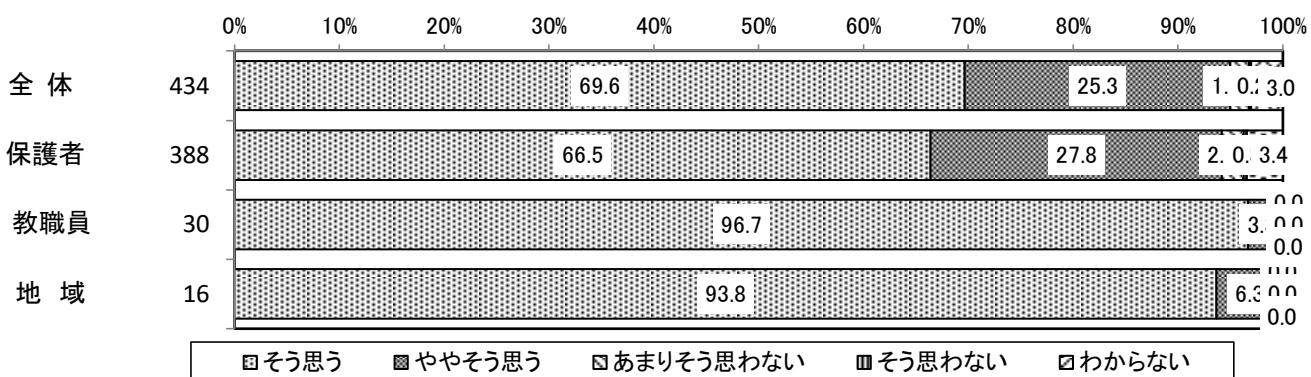
【肯定回答率：94.0%】 (昨年度：93.6%)

自由記述欄のご意見では、学校の日常をきめ細やかに発信している「校長室だより」を高く評価する声を多数いただきました。今後とも学校だより、学年だより、ほけんだより、給食だより、カウンセラーだより等、きめ細やかな情報提供を行っていきます。あわせてホームページの活用について、学校支援本部の協力やICTに堪能な協力者との協力体制の整備を検討していきます。

② 学校支援本部（あまぬまワンダラーズ）との協働による教育活動の実施

設問

②ゲスト講師やサポートーのコーディネートをはじめ、遠足等の引率、学習補助、土曜日学校や放課後子ども教室の運営を担っている学校支援本部（あまぬまワンダラーズ）と協働し、地域の力を生かした様々な教育活動が行われている。（保護者・教員・地域）



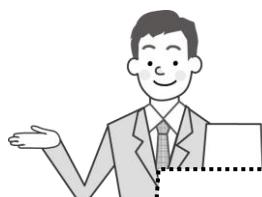
考察

【肯定回答率：94.9%】（昨年度：91.7%）

教職員の回答では肯定意見が100%となっており、天沼小の教育活動において、学校支援本部の存在が欠かせないものとなっていることを改めて感じる結果となりました。

こうした取組を保護者の方々にご覧いただく機会である公開授業については、「参観者のおしゃべりで子どもたちが授業に集中できない」「移動の際、階段等の混雑で事故が起きないか心配」といったご意見も寄せられています。

来年度の公開授業では、ぜひマナーを守って子どもたちの様子をご参観ください。



ちょっとおさらい！
公開授業でのマナーについて

今年度に引き続き、来年度も金曜・土曜について、授業の一部公開を検討しています。
曜日を問わず、公開授業においては下記のマナーをご確認いただき、スムーズな授業の運営にご協力ををお願いいたします。

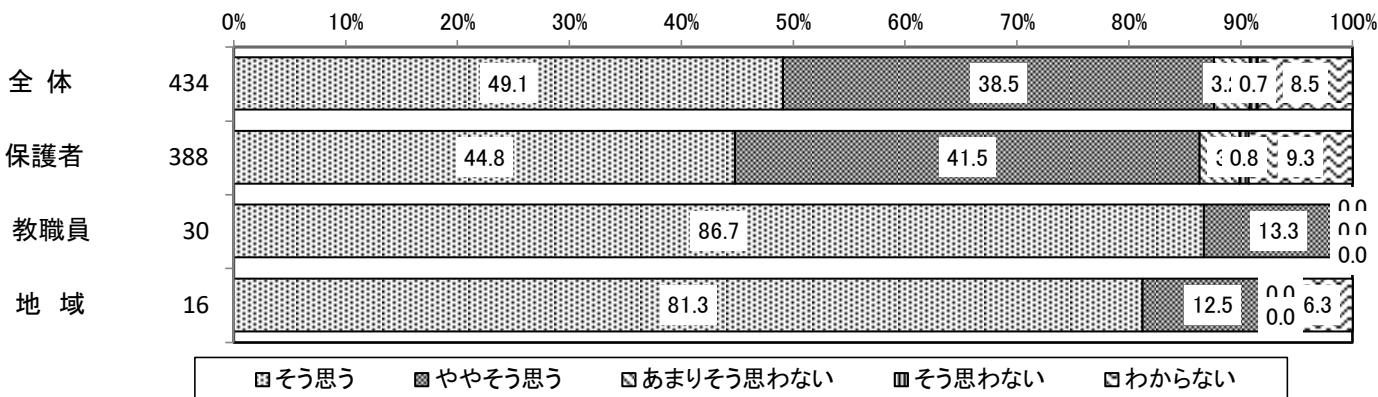
【公開授業でのマナー】

- * 教室や、教室前のオープンスペースでの私語厳禁！（子どもたちの授業の妨げになります）
・・・しかし、エレベーターホール周辺に交流スペースを設けます。
- * 教職員への声掛けは休み時間に！（児童のグループワーク中も授業中です）
- * 子どもたちの移動時間は子ども優先で！
- * 自転車での来校はご遠慮ください！（生活道路の駐輪、近隣の公園への駐輪により、近隣の方々にご迷惑をかけないようにしましょう）

② 「コミュニティ・スクール（地域運営学校）」としての学校運営

設問

②「地域運営学校＝コミュニティ・スクール」として、学校から今年度の学校運営方針を説明する機会や、学校運営協議会主催の「サマーワークショップ」など、学校の運営について直接ご意見をうかがう機会を設けるとともに、「学校評価アンケート」で寄せられた評価・ご意見を生かし、「地域とともにある学校」としての取組を進めている。（保護者・教員・地域）



考察

【肯定回答率：87.6%】（昨年度：88.9%）

「コミュニティ・スクール」（地域運営学校）は、学校の教育活動がより一層充実したものとなるよう、地域の方々や保護者の皆様が力を合わせて取り組むためにつくられた仕組みです。校長先生をはじめとして、地域・保護者の代表や学識経験者などで構成された学校運営協議会が中心となって、質の高い教育が進められるよう、様々な取組を行っています。

「地域との連携」ということでいえば、すでに天沼小では「地域のチカラ」である学校支援本部（あまねまワンダラーズ）によって、遠足などの引率補助や学習補助、茶道や書道の専門家のコーディネートなどが行われており、先生方と地域が一緒になって、レベルの高い学習を実現しています。このように、地域とともに歩む「コミュニティ・スクール」では、子どもたちの学力が高まるだけでなく、コミュニケーションの能力や地域に対する関心も高まっているという結果が報告されています。天沼小ではこれからもこの取組を通して、子どもたちがさらにレベルの高い教育を受けることができるよう取り組んでまいりますので、地域・保護者の皆様方のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

「いろんな人とかかわろう！」アンケート結果について



今年度も昨年度に引き続き、学校運営協議会から皆様へのご提案として、「いろんな人とかかわること」を重点とし、年間を通して保護者・地域の皆様にもご協力いただきました。

今年度の結果は以下の通りになりました。これからも地域全体で取り組んでいきましょう。

※保護者・地域からの回答総数 406 件

この1年間を通して、児童は「いろんな人とかかわろう」としていたと思いますか？

つねに意識した ときおり意識した あまり意識できなかった

176	191	36
-----	-----	----

0% 20% 40% 60% 80% 100%

児童に対して「いろんな人とかかわろう！」と働きかけましたか？

つねに意識した ときおり意識した あまり意識できなかった

57	197	148
----	-----	-----

0% 20% 40% 60% 80% 100%

ご自身が積極的にいろいろな人たちと関わることを意識できましたか？

そう思う ややそう思う そう思わない

88	208	110
----	-----	-----

0% 20% 40% 60% 80% 100%